

平成 30 年度 第 1 回 市川市中小企業制度融資審議会 会議録

【午後 2 時開会】

青田課長 それでは、定刻になりましたので始めさせていただきます。
 本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
 本日の進行を務めさせていただきます、商工振興課の青田と申します。
 どうぞよろしくお願いいたします。
 本日は平成 30 年度 第 1 回審議会の開催となりますが、委員の交代により今年度から新たに委員をお願いした方がお三方いらっしゃいますので、ご紹介をさせていただきます。市議会議長として竹内様、商工会議所代表としまして湯浅様、学識経験者として遠藤様を融資制度審議会の委員として新たに委嘱をさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。
 恐れ入りますが、委員の皆様には改めまして各自自己紹介をお願いしたいと存じます。恐れ入りますが、竹内委員の方から反時計回りで順番に自己紹介をお願いいたします。

(委員自己紹介)

青田課長 ありがとうございました。続きまして事務局の職員を紹介いたします。

(事務局自己紹介)

青田課長 それでは、今回の第 1 回審議会において時間的な制約はございますが、委員の皆様には屈託のないご意見、ご要望などを賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
 これより、会長の選出をさせていただきたいと思います。会長を選出するまで、事務局の方で進行を務めさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

青田課長 ありがとうございます。それでは、ただいまより平成 30 年度第 1 回市川市中小企業融資制度審議会を開催いたします。本日は 6 名の委員の皆様にご出席いただいております。「市川市中小企業融資及び利子補給条例」の第 17 条第 2 項の規定により委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立しております。
 また、会議は公開することが原則とされており、本日の議題いずれも非公開情報に該当する事項がないことから、公開とさせていただきます。

と思います。

賛成の方は、恐れ入りますが挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

青田課長 ありがとうございます。ご異議がないようですので、会議は公開とさせていただきます。傍聴人の方は本日いらっしゃいますか？

事務局 傍聴人はおりません。

青田課長 今日は、ただいま傍聴人の方はいらっしゃらないとのことでございます。

 なお、本日の会議につきまして、議事録署名人を「田中委員」と「野口委員」にお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

青田課長 ありがとうございます。それでは、会議次第 議題 1「会長・副会長の選出について」に基づきまして、会長・副会長を選出いたします。

 会長・副会長の選出については、「市川市中小企業資金融資及び利子補給条例」の第 16 条第 1 項では、審議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選することとなっております。自薦、指名推薦どちらでもよろしいかと思いますが、皆様いかがでしょうか。ご意見のある方、お願いいたします。

(野口委員 挙手)

野口委員 私は、前会長と同様に、学識経験者の方が会長になっていただきたいと思っております。そこで、引野委員を会長に推薦いたしたいと思っております。

青田課長 ありがとうございます。他に推薦される方はいらっしゃいますか？
 いらっしゃらないようでしたら、ただいま、ご推薦がありました会長について、引野委員にお願いすることで皆様よろしいでしょうか？

(全員異議なし)

青田課長 ありがとうございます。ここで引野会長に席をお移りいただきたいと思っております。

(引野会長 移動)

青田課長 それでは、引野会長の方から一言ご挨拶を恐れ入りますがお願いいたします。

(引野会長 挨拶)

青田課長 ありがとうございます。これより会議の進行につきましては、引野会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

引野会長 それでは、会議を引き続き進めさせていただきたいと思います。議題1の副会長をまずは決めたいと思います。副会長につきましても「市川市中小企業資金融資及び利子補給条例」の第16条第1項により互選となっております。どなたかご推薦はありますか？

(推薦が無いの確認)

引野会長 それでは、推薦がないようですので皆様のご承諾をいただければ私の方から推薦をさせていただきたいと思います。

(全員異議なし)

引野会長 それでは湯浅委員を副会長に推薦させていただきたいと思います。皆様いかがでしょうか？

(全員異議なし)

引野会長 ありがとうございます。それでは湯浅委員、お引き受けいただけますか？

湯浅委員 はい。ご推薦を賜りましたのでお引き受けいたします。

(湯浅副会長 移動)

引野会長 それでは、湯浅副会長からひと言ご挨拶をお願いいたします。

(湯浅副会長 挨拶)

引野会長 それでは、会議次第に基づきまして議題2「平成29年度融資実績について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局資料 2-1 説明)

引野会長 ただいま、事務局より資料 2-1「融資制度の仕組みと事業の概略」について説明がございましたが、何かご意見のある方いらっしゃいますか？

(全員意見、質問等無し)

引野会長 意見がないようですので、引き続きまして議題 2「平成 29 年度融資実績について」、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局資料 2-2～2-4 説明)

引野会長 ただいま、事務局より議題 2 の「平成 29 年度融資実績について」に係る資料 2-2～2-4 の資料説明がございましたが、何かご意見、ご質問のある方はお願いいたします。

(全員意見、質問等無し)

引野会長 それでは次に参ります。議題 3「平成 30 年度融資実績について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局資料 3-1～3-2 説明)

引野会長 ただいま、事務局より議題 3 の「平成 30 年度融資実績について」に係る資料説明がございましたが、何かご意見、ご質問のある方はお願いいたします。

野口委員 小口零細企業保証制度とベンチャービジネス等支援資金は平成 30 年 4 月から限度額がそれぞれ引き上げられていますけれども、この利用状況はどのようなものでしょうか。

事務局 資料 3-1 の左側の「③資金メニュー別融資額」、こちらが比較をしやすいところかと思えます。一番上の小口零細については、29 年度と 30 年度それぞれ同月比で申し上げますと、件数はほぼ横ばいですが、金額の方は平均して 100 万円程度増えていますので、限度額が大きくなったことによって融資額を大きく希望される方が増えたということが見込まれます。

また、同じく資金メニュー別融資額の下にベンチャービジネス等支援

資金がございしますが、こちらも同じように件数的には6件から、30年度については9件と増えているのと、あわせて融資金額についても3倍ほど増えていますので、限度額を増やしたことによってやはりこちらもより高額に融資を受けられる方が出てきたと見ております。

以上でございます。

引野会長 その他に何か意見はございますか。

(全員意見、質問等無し)

引野会長 それでは引き続き、議題4「市川市中小企業融資制度の利率・利子補給等の運用について」、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局資料4説明)

引野会長 ありがとうございました。ただいま、事務局より議題4の「市川市中小企業融資制度の利率・利子補給等の運用について」に係る説明がございましたが、何かご意見、ご質問のある方はお願いいたします。

(全員意見、質問等無し)

引野会長 資料4を見ると、日銀の中小企業業況判断指数は、中小企業者の業績がかなり良いようなデータになってはいますが、千葉銀行さんや東京ベイ信用金庫さんの最近の貸出金利や貸出状況についてはいかがですか？

遠藤委員 当行でのお客さんの動向を踏まえると、取引先の中小企業者は景況感という意味ではリーマンショック以降の最悪時を越えて、貸出は良好になってきているというのは事実だと思います。ただし、良好になってきている景況感がいつまで続くということで、設備投資については踏み切れないなど、不安を抱いている企業が多いのかなと実感しております。

そのような中で金利につきましては、資金需要という意味ではありますが、資料4の表の通り、更に金利としては下がっている状況です。日銀の方ではマイナス金利からゼロ金利に戻して、またプラスに金利を引き上げる方策も出ておりますけれども、実際の金利は大口の不動産の融資を含めて考えると、どんどん下がっている、下げ止まっていないという実態です。

金融機関側だけの立場から言うと、下げ止めなければいけないという感覚はありまして、先程の話に合ったように信用リスクに応じた適正な金利を付けていこうという考えは当行に限らず民間の方で出来ているというのは事実でございます。

ただし、近隣の金融機関がこれだけ貸出に競合というところも含めて、地元の銀行だけでなく地方銀行の中でも県外の銀行ですとか都市銀行含めて新規に低レートで参入してきている事実がございまして、その競合上金利が下がっているケースが出てきているというのはございます。実態としてはそのような状況です。

引野会長 ありがとうございます。東京ベイ信用金庫さんの方はいかがですか？

野口委員 今伺った状況の中ですが、金利については私が見ている限りでいうと、ここ一年でほぼ下げ止まってきたのではないかなという気がしております。これ以上金利が下がると当金庫の経営関係もございまして、今の金利が殆ど底というふうに思っております。

引野会長 来年消費税が10%になる関係で、軽減税率もありますけれども、そういう意味では金融機関の委員の方は駆け込み的な融資についてはどのように予想されておりますか？

遠藤委員 現状では、まだ具体的な話は出てきませんが、やはり消費税が8%から10%になると、その差が2%とはいえ設備投資など大きな金額になれば、増税分は大きな負担になりますので、そういう意味での融資相談の駆け込み需要というのはある程度あるかと考えております。

引野会長 東京ベイ信用金庫さんはいかがですか？

野口委員 実際に税率が上がってみないと何とも言えないところですけど、今は軽減税率対策も正式には決まっていないような段階ではないかと思えますし、また、ちょうど4年前の平成26年に消費税が上がった時を比較してみても、当金庫では増税に対する特別な対策を立てたわけでもないので、お客様の動向を見ながら対応していくような形になるかと思えます。

引野会長 まだまだ中小企業者は、消費税に関しての動きが比較的に遅いような感じもします。

ところで、最近新規の創業については、金融機関への融資の相談の状況はいかがですか？

遠藤委員 創業の相談は、窓口に来られるケースが多いのですが、私の感覚で言うと、意外と若い30代から中には20代の方、IT関係で独立しようという方、またはフランチャイズでそのまま引き受けてお店を持つというようなご相談は、昔と比べると増えているようなところもあります。

一方で、創業資金の融資の判断は非常に難しい部分もありますので、

市の融資制度ですとか県の融資制度といった融資を使っていたかというものが殆どだと思います。

引野会長 東京ベイ信用金庫の方はいかがですか？

野口委員 やはり全く同じで、東京都もよくシニア制度や若者向けの融資制度を対策として行っていますので、融資制度を積極的に活用して相談に応じるという形で進めています。

引野会長 ありがとうございます。中小企業者というと良いところもあれば悪いところもあるというような感じもありますが、そういう意味で中小企業者の皆さんのご相談に乗っておられる商工会議所の現在の相談状況はどうですか？

湯浅副会長 商工会議所としては、日本政策金融公庫が直接に貸し出しをするもので保証協会の保証が付かないものや、今日の審議会が開かれている市川市融資制度の他、県融資制度について、融資相談窓口を設けて相談にあたっております。

そういった中で現在の相談状況といいますと、緩やかに景気が回復してきているという話がありますが、まだまだ中小企業者においてはなかなか厳しい経営状況が続いておりまして、まずは人手不足というのを経営者の方が悩んでいます。

今日の資料説明の中で、建設関係の融資の件数が多かったと思うのですが、やはり建設業界は業者不足ということでなかなか技術が育たない、求人しても来ない状況があります。

建設関係の融資では、現在はマンションの新築とか、営繕工事や、または店舗の改装や、一般住宅のリフォーム、こういったものの受注が多く、そのような資金事業が増えてきているというような気がします。

ただし、外注費や人件費の高騰、あとは材料費が高いなど、そういった意味で利益を出すのが大変ということと、仕事の計画を上手く立てても、今年は暑かったり、台風が多かったり、そういった面で利益を出すのは大変だと建築業界の方の声が聞かれました。

次に融資で多いのは小売店の方の店舗改修で、最近設備資金の方が大きく出ているような感じがしています。あとサービス業種、飲食店ですけれども人手が足りないということで苦勞している状況でなかなか厳しいという状況でございます。

また、先程お話もあったように消費税が上がるという表明が10月にありました。日本商工会議所のアンケートで申しますと、そのアンケートでは消費税に関して81.2%が未対応ということで日本商工会議所が発表しております。

当所の方にも利子補助金や IT 補助金など、市川市の方で利子補給の制度などが色々あるので早めに対応した方がいいのではと伝えておりますが、中小企業者の対応が遅れているように感じます。

消費税の引き上げ時に複数税率の導入をすることはわかりにくいと思っておりますが、消費税に関係なく、中小企業者の方は、経理やシステムや販売方法やカタログ作成、価格表示の仕方など細かい対応への負担が予想もされますので、市の融資制度や日本政策金融公庫の融資の利用を PR していきたいと思えます。

引野会長 千葉銀行の方は何かありますか？

遠藤委員 今の話と被るところがありますが、中小企業者の皆様でいいますと、景気が良いと業績が数値上良い会社さんでも、人手がなかなか集まらない、もしくは定着しないという話はよく聞きます。

今日のニュースにもありましたが、原油がこれだけ上がってコストが上がってきており、人件費も含めてですからいい人材を確保するにはコストがかかるという話は聞きますので、当行の方でもそういった人材確保のセミナーとかを開催したりすると人が集まってくるというケースもございます。

やはり人を集めて育てるというのに苦労しているという会社さんも増えてはきているかと思えます。

あとは、事業承継では、後継者がいる方はいいのですが、いない方はどうしようという話が潜在的に増えているというのは間違いないと思えます。

これは、金融機関としてもその事業をどうするかということで承継する人を探すのも支援の一つですし、逆に上手くクローズさせるということも含めて、事業承継の問題はこれから増えていくと思えます。

その絡みでの資金ニーズというのも出てくる可能性はあります。

引野会長 皆様、何か意見はありますか？

(全員意見、質問等無し)

引野会長 消費税に関連して、平成 33 年にはインボイスの話もあり、これも決定のように伺えますが、中小企業者の方、特に課税売上高が 1 千万円に届かない事業者は対応が結構大変な気がします。

インボイスを発行できないような企業は排除されるなどの危険が言われていますが、これもまだ様子が分からないので、軽減税率対応は中小企業者の方、特に小規模企業者の方は対応が大変だと思います。

消費税の対応については、事業者の動きが鈍いような気がしますけれ

ども、我々の業界でも追々対応していきたいと思っています。

その他に何かございますか？

竹内委員　　今回金融機関の方の意見を伺い、銀行が自ら貸し出す利率は異なるということでありましたが、市の融資制度はどこ金融機関を選んでも利率は同じですか？

事務局　　市の融資制度は取扱金融機関、いずれも同じ利率になります。

竹内委員　　同じ利率を確認しました。
また、商店街空き店舗等利用資金は利用件数の実績が0件ですか。
もう少し利用者があるのかと思ったのですが。それとも日本政策金融公庫の借り入れとこちらの借り入れと金利が違うのですか？

引野会長　　市の融資制度は5年間の融資で小規模事業資金の場合、利率2.4%で利子補給率が1.3%になるので、事業者の自己負担率は1.1%となります。そんなに日本政策金融公庫との差はないと思います。日本政策金融公庫の融資は、国の政策融資なので、その時の経済変化に応じて日本政策金融公庫の事業とか中小企業融資対策が来ますので、保証協会の保証が付かない分、少し利率が低かったりしますが、今はそんなに数値的に変わらないという状況だと思います。

事務局　　先程、商店街空き店舗等利用資金の利用件数は0件ということでしたが、実際に空き店舗を利用して何か事業を起こすとか、空き店舗に移るという人はいないわけではありません。
小規模事業資金の提出書類は、商店街空き店舗等利用資金を比較すると少なく済むうえ、資料の5-2（市川市中小企業融資制度のしおり）によると、商店街空き店舗等利用資金と小規模事業資金の利率・利子補給率も全く同じです。
したがって、小規模事業資金の方で借りるという判断をされたのだと思います。

遠藤委員　　こちらは小規模事業者の従業員の制限はないということですか？

事務局　　そのとおりです。

遠藤委員　　融資制度は小規模事業資金の場合、常時使用する従業員が商業・サービス業は5人以下という要件があるので、従業員が6人とか10人の事業者ですと小規模事業資金は使えませんが、商店街空き店舗等利用資金であれば、使えるという話はありえると思います。

竹内委員 従業員数は融資を利用するにあたって影響するのですか？

遠藤委員 小規模事業者は、常時使用する従業員が商業・サービス業においては5人以下で、メーカーや製造業や建設業においては20人以下という要件があります。

引野会長 それでは、本日は委員の皆様には色々なご意見を賜り、ありがとうございました。時間が来ましたので、以上を持ちまして本日の議題は終了といたします。事務局から何か報告事項等がございますか？

事務局 次回、第2回の審議会の開催の予定になりますけれども、年明け1月中旬から2月の上旬を予定させていただいております。改めて皆様の方にご都合をお伺いさせていただきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。以上でございます。

引野会長 委員の皆様には色々なご意見を賜りまして、ありがとうございました。
次回の審議会までに事務局の方で十分検討していただきたいと思います。これをもちまして平成30年度第1回市川市中小企業融資制度審議会を閉会いたします。